

## 創意工夫で評価しない代表事例（参考）

キーワード	工夫番号	提案内容	評価しない理由
施工1	3	コンクリート本体工の床堀面を、均しコンクリートを打設し調整する。	基面整正を簡易にして施工性の向上のための措置に過ぎない。気象や地盤の問題があれば設計変更で対応する。
施工1	8	集水能力の向上を目的として、保孔管に斜孔管を使用する。	一般的な材料であり、特筆すべき工夫でない。
施工1	8	鉄板を敷設し、工事車両出入口の舗装路肩を保護する。	一般的な現場管理の範疇であり、特筆すべき工夫とはいえない。
施工1	8	仮設道路のルートを変更し、車両の走行性を改善する。	任意仮設のため評価対象外。
施工1	11	最適な含水比で施工を行うため、降雨の即時排水、表面排水処理を行う。	特筆すべき工夫とはいえない。
施工1	13	電子小黒板使用による、写真管理業務の効率化	特筆すべき工夫とはいえない。
施工1	13	測量業務が一人でできる自動追尾トータルステーションを使用し、出来形管理、測量作業効率アップを図る。	特筆すべき工夫とはいえない。
施工1	13	ケーブルカメラ導入による水中撮影	特筆すべき工夫とはいえない。
施工1	13	ドローンによる工事進捗状況の撮影	ドローンの使用は一般に普及しており特筆すべき工夫ではない。
施工1	16	情報共有システムの活用	共通仮設費に含まれている。
品質	21	型枠材に透明樹脂型枠を使用する。	品質向上効果が不明瞭であり、評価対象外。なお、品質や出来ばえが良好なら、そちらの評価に反映する。
品質	21	当現場のコンクリート供試体が必ず識別できるようにラベルを入れる。	特筆すべき工夫とはいえない。なお、品質の評価対象である。
安全衛生	25	安全看板設置の工夫	特筆すべき工夫とはいえない。
安全衛生	25	電光掲示板の設置	特筆すべき工夫とはいえない。
安全衛生	25	工事看板へのクッション材の取付（歩行者の接触対策）	普及している内容であり、特筆すべき工夫とはいえない。
安全衛生	25	作業中止基準の目安として吹き流しを設置し、無事故無災害をめざす。	特筆すべき工夫とはいえない。
安全衛生	25	工事関係車両に工事名入りプレートを貼付け、運転者の意識向上を図る。	特筆すべき工夫とはいえない。
安全衛生	26	女性による安全衛生パトロールの実施	パトロールは通常的安全管理の範疇である。女性に限定することが工夫とは言えない。
安全衛生	26	本社パトロールの実施	通常的安全管理又は本社支援として評価すべき内容である。
安全衛生	26	外部の安全衛生講習を受講する。	特筆すべき工夫とはいえない。
安全衛生	26	〇〇体操、〇〇体操に取り入れて、ケガや災害を防止する。	特筆すべき工夫とはいえない。
安全衛生	27	現場事務所でのAED設置	特筆すべき工夫とはいえない。
安全衛生	27	移動仮設トイレの設置	共通仮設費に含まれる。
安全衛生	27	快適トイレの設置。	必要に応じ積算対応すべきものである。
安全衛生	29	工事区域の明確化と一般車両への視認性向上	特筆すべき工夫とはいえない。
安全衛生	30	熱中症対策として、熱中症対策ウォッチの使用	現場管理の範疇であり、特筆すべき工夫とはいえない。
安全衛生	30	熱中症対策として、空調服を着用し、熱中アラームを携帯する。	現場管理の範疇であり、特筆すべき工夫とはいえない。
安全衛生	30	電熱ベストの導入	現場管理の範疇であり、特筆すべき工夫とはいえない。
安全衛生	31	低騒音型重機の使用	特筆すべき工夫とはいえない。
その他	36	サーモグラフィーを使用し、面で路面温度を測定する。	特筆すべき工夫とはいえない。

## 創意工夫で評価しない代表事例（参考）

キーワード	工夫番号	提案内容	評価しない理由
安全衛生	25, 29	簡易重量測定器による過積載管理の実施	人為ミス等の予防と異なり、法令違反を行わないこと自体を工夫として評価対象にすることはできない。
品質	—	放射温度計により路面温度を確認しながら転圧を行う。	アスファルトの温度管理は通常の施工条件であり、工夫対象として設定していない。
品質	—	アスファルト合材運搬時に合材シート（二重）を使用する。	アスファルトの運搬管理は通常の施工条件であり、工夫対象として設定していない。
安全衛生		油流出事故防止のための対策用具の常備	特筆すべき工夫とはいえない。

### 【留意事項】

- ・ 工夫番号は、考査項目別運用表の工夫事項の番号（1～36）を示します。
- ・ 上記の代表事例の前に、必ず「工事成績評定の手引き」で考え方を理解してください。
- ・ 「4. 創意工夫」は最終的に実施状況により評価します（評定要領第4の3）が、評価対象にならない工夫を事前に選別するため、実施前に計画書を提出することとしています。
- ・ 上記は評価対象とならない代表的な事例ですが、工事内容によっては特筆すべき工夫と認められることがあるかもしれません。
- ・ 創意工夫の評価対象にならないとしても、他の考査項目に反映したり、労働環境や社内利益に資するのであれば、中止を求められない限り実施されて構いません。

## 社会性等で評価しない代表事例

項目番号	提案内容	評価しない理由
1	夜間施工時、防音パネルを使用する。	地域への貢献に類する取り組みでない。本項目は「工夫」を評価するものではない。
1	現場事務所使用の発電原動器に防音シート設置し騒音を低減する。	地域への貢献に類する取り組みでない。本項目は「工夫」を評価するものではない。
1	周辺環境への配慮(油漏れ・濁水防止対策)	地域への貢献に類する取り組みでない。
1	SDGsの取り組み(現場の古紙リサイクル)	地域への貢献に類する取り組みでない。
1	従来から当社で行っている〇〇を継続し、当地域でも実施する。	計約前から行っている活動である。
2	工事現場周辺の環境に配慮する。	具体性がなく評価対象外。
2	児童にも読めるようにひらがな、ふりがな使用の工事用看板を設置する。	諸経費対象となっている。社会性等は、ひらがな等の「工夫」を評価する項目ではない。
2	市と県のマスコットキャラクターのシールを標識等に貼り付け、イメージアップを図る。	効果が薄いと思われる。
2	しまねの建設担い手確保のイメージマークを掲示する。	業界全体として必要な取り組みだが、一般的な内容を超えるものではない。
3	地元住民に工事内容を説明する。	通常行う内容を大きく超えるものではない。地元対応は対外関係で評価する。
3	週間作業予定やお知らせ掲示板を設置する。	通常行う内容を大きく超えるものではない。地域への貢献が大きいと考えられない。
3	〇〇工事において現場見学会実施し、当該工事からも支援する。	今回の施工箇所と関係がない。
4	田んぼの進入路に張コンクリートを行う。	箇所が限定され、地域への貢献の程度が低い。
4	家屋入口の〇〇を整備する。	地元要望の処理に類することは対象でない。
4	通勤に使用する道路(L=〇〇m,W=〇〇m)を整備する。	過度な負担を伴う取り組みは評価対象外とする。
4	堆積土を撤去する。	準備費に含まれる。
4	塩カルを校庭に散布する。	本工事の現場と離れており、関連性が薄い。
4	現場事務前の清掃を行う。	通常行う内容である。
4	工事現場入口の側溝を清掃する。	規模が小さく貢献の程度が低い。通常の現場管理の範疇である。
5	地元の〇〇祭りに参加する。	効果が高いとは思われない。 なお、休日・夜間に無給で参加させたり、長時間労働を伴う計画は評価しない。
6	現場事務所にAEDを常備し、地元の方にも使用可能な状態とする。	民家も人通りもないものは効果が薄いと思われる。また、AEDの設置場所や周辺への周知の状況によっては実質的に地域住民の活用が可能か等も考慮する。

### 【留意事項】

- ・ 項目番号は、考査項目別運用表の評価対象項目の番号(1~7)を示します。
- ・ 上記の代表事例の前に、必ず「工事成績評定の手引き」で考え方を理解してください。
- ・ 「6. 社会性等」は最終的に実施状況により評価します(評定要領第4の3)が、評価対象にならない取組みを事前に選別するため、実施前に計画書を提出することとしています。
- ・ 上記は評価対象とならない代表的な事例ですが、工事内容によっては地域への貢献度が高い取組みと認められることがあるかもしれません。